



# はじめのいっぽ

令和4年度  
7月号

令和4年6月30日  
認定こども園  
東野田ちどり保育園  
東野田ちどりキッズ・庁舎内  
江川 永里子

三回目のコロナ禍の夏がやって来ました。  
今年、屋上園庭での「安田式プール遊び」を  
二年ぶりに実施いたします。

一日一学年と決め、ローテーションを組んで  
進めていきます。

今、出来る夏ならではの「楽しみ」を追求していきたいと思います。

屋上の畑では、今年も例年以上に豊作でした。  
トマト、ピーマン、ナス、キュウリの収穫を楽しみ、  
厨房で料理して頂き、ご馳走になりました。  
実りの状態を日々見ながら、子ども達は収穫の  
タイミングを話し合っていました。



～ アドラー より ～

## 失敗した場合にも勇気づけよう

### 1.失敗は不適切な行動ではありません

よい意図をもって、あるいはすくなくとも悪い意図をもたないで行動したのに、たまたま結果がうまくいかなかったことを〈失敗〉といいます。〈不適切な行動〉は、多かれ少なかれ、親を困らせることを目的にしていますので、そういう点で〈失敗〉とは違ってきます。失敗の結果、親は困るかもしれませんが、子どもは「親を困らせてやろう」という目的で失敗したわけではありません。親は迷惑をかけられたかもしれませんが、そのために感情的になってしまえば、子どもを勇気づける力を失ってしまいます。

### 2.子どもは失敗を通じて成長する

子どもが失敗したとき、その失敗をとがめたり、批判したり、罰したりしたらどうなるのでしょうか。子どもは、「私には能力がないんだ」と感じて、自分の課題に自分の力でとりくむ勇気をくじかれてしまい、臆病になってしまうかもしれません。あるいは、「親は私の仲間じゃない」と、親に対して不信感を持つてしまうかもしれません。

失敗は成長するためのチャンスなのです。子どもは失敗から学びます。子どもが失敗したときこそ、じゅうぶんに勇気づけてあげましょう。そのためには、まず、子どもの話をじっくりと聴いてみることです。そうして、失敗したために、子どもががっかりしていたり、動揺していたり、自分に腹を立てていたりすることを理解してあげましょう。親は子どもの味方、子どもの仲間なんですから。

### 3.子どものよい意図や努力をみつけたそう

子どもはよい意図で行動したのに、結果がうまくいかなかったのです。もし子どもを勇気づけようとするならば、結果に注目せずに、よい意図や、努力や、チャレンジする姿勢などに焦点をあてましょう。そうすれば勇気づけは難しくありません。

さらに、失敗によっておこった損害などを、どのようにして回復すればいいか、今後同じ失敗をくり返さないためにはどうすればいいかを、冷静に話し合しましょう。また、迷惑をかけた人がおれば、あやまるように提案してみるのもいいでしょう。ただし、これは、親子関係が良ければの話で、子どもが親を仲間だと思っていないときに、「どうして後始末をするのよ」とか、「あやまりなさい」と言うと、子どもは怒るかもしれません。